

ルネサンスの精華

イタリア・ファエンツァ
国際陶芸博物館所蔵

マジョリカ 名陶展

平成14年1月3日(木)～3月24日(日)

[月曜休館。ただし祝日の場合は開館し、翌日休館。]

山口県立萩美術館・浦上記念館

開館時間 ●午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料金 ●一般1,000(800)円、学生800(600)円

※()内は20名以上の団体料金。

※70歳以上と18歳以下の方、および高等学校・中等教育学校と盲・聾・養護学校に在学する生徒は無料。

主 催 ●山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞西部本社、TYSテレビ山口、日本経済新聞社、ファエンツァ市、ファエンツァ国際陶芸博物館

後 援 ●外務省、文化庁、イタリア大使館、萩市、日本におけるイタリア2001年財団、イタリア文化会館

特別協賛 ●EPSON、キリンビール、資生堂、大日本印刷、東し、野村證券、山之内製薬

特別協力 ●安田火災海上保険

協 力 ●アリタリア航空



Capolavori di Maiolica Italiana dal Museo Internazionale delle Ceramiche in Faenza

騎士戦闘図皿
ファエンツァ窯 16世紀第4四半世紀



「ガラテアの勝利」図杯
ウルビーノ窯 1550年頃



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM



ルネサンスの精華

イタリア・ファエンツァ
国際陶芸博物館所蔵

マジョリカ 名陶展

マジョリカ陶器とは、マヨリカ、マイヨリカとも呼ばれ、イタリアを代表する錫釉軟質陶器の総称です。その名称の起源はイタリアで盛んに輸入されたスペイン陶器がマジョリカ島を経由してもたらされたからなどの諸説があります。その後イタリアで模倣に成功し、ヨーロッパ全域を席卷していきます。

マジョリカ陶器は、イタリアを中心として、15～16世紀のいわゆる工芸におけるルネサンス期に最盛期を迎えます。この盛期に先立つ素朴な作品もありますが、一般的には色彩豊かで巧みな絵付けが施され、ラテン系の明るさに満ちた豪華絢爛たるやきものでした。

本展ではファエンツァ国際陶芸博物館のマジョリカ陶器コレクションから、ルネサンス期を中心に名品約100点を厳選し、マジョリカ陶器の魅力余すところなく紹介します。また、マジョリカ陶器の源流であるイスラム陶器、そして江戸時代にオランダ貿易を通じて輸入された大坂城址出土のマジョリカ陶器を合わせて展示し、やきものにおける東西交流の歴史を検証します。

なお、本展は2001年から2002年にかけてイタリアの芸術・文化・科学技術などを幅広く紹介する「日本におけるイタリア2001年」公式行事の一つで、ファエンツァ市およびファエンツァ国際陶芸博物館の大きな支援によって実現をみました。色彩豊かで生命力に富んだマジョリカ陶器を十分にお楽しみください。



①《ファルネーゼ家紋章入り楕円形大鉢（冷却器）》
カステッリ窯 1589年以前



②《メディチ家紋章入りポッカーレ》
モンテルーボ窯 1570-90年頃



④《女性図双把手フィアスカ》
カステッリ窯 1540-50年頃



③《「マルスの戦車」図皿》
ニコラ・ダ・ウルビーノ作 1533年頃



⑤《紋章入り双耳フィアスカ》
ファエンツァ窯 16世紀末



⑥《教皇レオ10世図ポッカーレ》
カファッジョーロ窯 1513-21年



⑦《キュービッド図双耳瓶》
ファエンツァ窯 16世紀末

記念講演

「マジョリカ陶の魅力」

日時●平成14年3月2日(土)
午後1時30分～3時

講師●伊藤郁太郎氏 (大阪市立東洋陶磁美術館館長)
※定員80名 受付先着順で聴講無料。

ギャラリー・ツアー

第1・第3日曜日 午前11時～12時に
担当学芸員による列品解説を行います。



山口県立萩美術館・浦上記念館

HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1

TEL0838-24-2400/FAX0838-24-2401

URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.jp/>

交通アクセス

- JR東萩駅=タクシー10分/まあ〜るバス20分/徒歩30分
- JR小郡駅=バス70分(萩バスセンター下車、徒歩15分)
- 石見空港(島根県益田市)=バス75分(萩バスセンター下車、徒歩15分)
- 中国自動車道=小郡I.C. 美祢I.C. 各50分

